

タイトル：河川にまつわる「地域の記憶掘り起こし」と会話の場の創出

■中間活動報告書

氏名： 北村 美香

作成日： 2017年 8月 18日

	年間活動計画	活動結果
背景と昨年度の課題	<p>(背景)</p> <p>河川と先人の関わってきた経験や知恵の集積が行われ、地域の歴史のひとつとして生活と共にあったころの河川情報に注目し、住民と行政が話をするひとつの話題として、今後のあり方について意見交換ができる関係構築のきっかけづくりが必要であると考えている。そのため場の創出と、双方のコミュニケーションの機会と場を増やすことを目指し、河川整備も街づくり、地域づくりの一つの要素であるため、切り離して考えるのではなく、視野を広げていきたい。</p> <p>(昨年度の課題)</p> <p>既存の河川事務所内の事業と連携できればと、取り組みのきっかけを二回の試行をおこないながら検討したが、今年度の活動の中からでは適正なものを見出すことができなかった。来年度も河川レンジャーとして活動するのであれば、引き続き活動の成果や、個人のポテンシャルを活用できるものなから、連携できるものを模索していきたい。</p>	
実施目的	<p>(ビジョン・展望)</p> <p>古写真収集やヒアリングより得られた成果や、個人のポテンシャルを活用できるものなから、連携できるものを模索していく。また、現在活動している関係団体とのネットワークを構築し、共同で取り組むことで新しい発展ができることを目指す。</p> <p>(ミッション・使命)</p> <p>地域の方と一緒に活動することで、長期的な活動の継続を目指し、そのための支援をしていく。また、住民と行政とが会話をするきっかけづくりの場を創出し、これまでの河川レンジャーの活動成果も活用して双方のコミュニケーションの機会と場を増やしていく。</p>	
今年度の成果目標	<p>※活動計画で掲げた成果目標に対してこれまでの達成度をA～F（Aが達成度最大、Fが達成度最低）の6段階で自己評価して下さい。また、そのように評価した理由や根拠があれば書いてください。</p>	
とこれまでの達成度	<p>1. 河川に関する記憶の掘り起こしと、住民・行政の情報共有</p>	<p>A ・ B ・ C ・ D ・ E ・ F</p> <p>※理由・根拠を記載してください。</p> <p>琵琶湖博物館での写真展が好評だったため、一定の成果を得られたと考えている。今回の成果を反映させた冊子等のツール作成準備ができなかったため、下半期の活動の中で取り組んで来たい。</p>

	2. 河川に対する興味関心を高めることを目指し、各団体の活動を支援していく	<p>④ ・ B ・ C ・ D ・ E ・ F</p> <p>※理由・根拠を記載してください。</p> <p>現在活動している各種団体の活動取材等を行ったことで、ネットワーク構築ができたと考えている。これまでのノウハウ等と生かした活動の支援もすることができた。</p>
	3. 河川レンジャー活動の認知度向上	<p>④ ・ B ・ C ・ D ・ E ・ F</p> <p>※理由・根拠を記載してください。</p> <p>活動内容や写真展について、メディア数社に取り上げてもらったことで河川レンジャーの存在も含めて、認知度向上には大きな成果を得られたと言える。</p>
	※当初想定していなかった成果があれば記載してください⇒	<p>※理由・根拠を記載してください。</p> <p>メディアの反応を通じて、本活動への興味関心が想定していた以上にあるのではないかと感じた。</p>
<p>※これまでの活動の中で、自ら評価できる点などを記載して下さい。</p> <p>自らの活動を軸に、多方面に活動の幅を広げようと試みたが、結果として良かったと考えている。大きな写真展があったこと。河川での活動はどうしても春～夏に多くなるという特性を考えると仕方ないが、上半期の負担が大きすぎた。</p>		
	年間活動計画	活動結果
活動内容の計画と途中経過	<p>※活動計画で掲げた活動内容対して、これまでに実際に実施できた事柄、計画していたが実施できなかった事柄、さらに、当初予定していなかったが実施できたことなどを、前述の成果目標の番号と対比して記載してください。</p> <p>1. 河川に関する記憶を掘り起こしと、住民・行政の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・得られた情報を集約して、水のめぐみ館エリアでの情報発信または展示</li> <li>・地域における写真を活用したヒアリング活動の普及と支援</li> <li>・県内施設などさまざまな場で写真展を通じた会話の場の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水のめぐみ館エリアでの情報発信および展示は、下半期での計画としている。</li> <li>・昨年度取材をさせていただいた TANAKAMI ことも環境クラブさんが「昔の水遊び」として、本活動の手法を実施したいと申し出があったため、企画から実施に至る支援を行った。</li> <li>また、土山地区からも以前より収集されている写真を活用して、同じ手法で下半期に写真展等を実施したいと申し出があった。</li> <li>・琵琶湖博物館において7月に写真展の開催ができた。</li> </ul>

	<p>2. 河川に対する興味関心を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動成果を伝える広報ツール作成</li> <li>・ 関連団体の活動支援およびネットワークの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツール作成に向けての情報収集や調査に時間を費やしたため、下半期の成果としてツール作成を行いたい。</li> <li>・ WSBの会ははじめ、多くの団体や個人とご縁をいただくことができた。</li> </ul>
	<p>3. 河川レンジャー活動の認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動成果を伝える広報ツールの活用</li> <li>・ 活動成果を発信する場への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度に作成したものをヒアリングや取材時に活用して、本活動についての説明を行った。また、写真展会場において、冊子 200 部を配布した。</li> <li>・ 大きな場としては、下半期の活動予定に入れているが、新聞社 3 社(うち 2 社写真展告知)、ラジオ 1 番組出演、光泉高校放送部の取材対応を行なった。</li> </ul> <p>また、WSBの来館者に向けて河川への興味関心を促し、河川レンジャーを知ってもらうことを目的とした機会を月一度程度実施することができた。</p>
	<p>※当初予定していなかったが実施できたことがあれば記載してください⇒</p>	<p>メディアに取り上げられたことで得られたものは計り知れないが、対応にかなりの時間が取られたのは事実。今後も上手く対応して関係性を築いていきたい。</p>
活動対象に対する関係づくりの途中経過	<p>※活動計画の中で、「活動の対象」として挙げた相手について、これまでにどのような関係づくりできたのかを記載してください。また、当初想定していなかった相手との関係づくりが出来た場合には、そのことも記載してください。</p>	
	① 住民(近隣住民で年代を問わない)、河川事務所職員、河川レンジャー	<p>ヒアリングや写真収集の調査協力および、意見交換会等で会話の機会を持つ。</p>
	② 住民(近隣住民で年代を問わない)、関連団体	<p>関連団体は、活動の現場へ取材に行くことを中心に、現場での活動を通してコミュニケーションを取ることに注力した。</p> <p>住民の方については、こちらも散策路等の河川近辺において時間と場所(空間)を共有することに注力した。</p>
	③ 住民(子どもたちやその家族が中心)	<p>WSBの来館者や各団体のイベント等に参加する一般の方に向けて、専門的な知識や経験がなくとも楽しめるような河川に関連する工作やプログラムを実施し、まずは身近な河川環境に目を向け、足を運んでもらうきっかけづくりを行った。</p>

今年度における今後の課題	<p>※ これからの活動の中で取組んでいきたい事柄、活動の中で悩んでいる点などについて記載してください。</p> <p>上半期で得られた情報やネットワークをさらに広げ、お互いの活動が充実した内容にするための方策を考え、取組んでいきたい。水のめぐみ館エリアでの活動を下半期は重点を置きたい。</p>
--------------	--

		年間活動計画											
工程計画		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	ヒアリングおよび写真収集	常時活動 常時活動											
	会話の場の創出				琵琶湖博物館で写真展開						WSB写真展開催		
	関連団体の活動支援	常時活動（情報を収集しつつ、機会があれば参加）											
	活動周知活動										川づくりフォーラム参加		
		琵琶湖博物館で活動成果展示											
		子どもや家族を中心に、WSBにて周知と河川への興味関心を旨とした取り組みを月1度程											

※年間活動計画における工程計画（上段）に対して、これまでの活動実績及び今後の活動予定を記載してください。

		活動結果											
工程計画		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	ヒアリングおよび写真収集	常時活動											
	会話の場の創出				7/1-31 琵琶湖博物館で写真展開催						WSB写真展開催		
	関連団体の活動支援	本手法での地域活動支援 2件											
	活動周知活動										川づくりフォーラム参加		
		琵琶湖博物館で活動成果展示											
			5/3.4		7/16	8/19							

#### 活動工程に関する振り返り

※当初の工程計画及びこれまでの活動結果を振り返り、出来なかったことに関して、今後どのように活動していくかなどについて記載して下さい。

活動計画を立てて実施していくことはもちろん重要なことではあるは、業務として対応していない活動であるため、すべてを計画通りに実施していくことは大変難しい。時には活動が予想以上に発展し、短期間で多くを対応することも必要であるため、上半期の活動（特に6月末から7月中）についてはかなり負担だった。しかし、多くの成果を得ることは出来たので、下半期は調整しながらこの成果をまとめていく取り組みに重点を置きたい。